

令和2年度

事業報告書
収支計算書

一般社団法人 大阪発明協会

令和2年度事業報告書

目 次

1. 会員数	1
2. 会 議	
(1) 総 会	1
(2) 理事会	2
3. 発明奨励振興事業	
(1) 大阪優秀発明表彰	3
(2) 近畿地方発明表彰	4
(3) 全国発明表彰	6
(4) 叙勲、褒章等への推薦	7
(5) 大阪府発明実施功労者等表彰	7
4. 青少年創造性開発育成事業	
(1) 大阪府生徒児童発明くふう展（中止）	7
(2) 少年少女発明クラブ	7
(3) 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト（中止）	8
(4) 本部展覧会への推薦	8
5. 知的財産権制度普及事業	
(1) 大阪発明協会主催「知的財産セミナー」の開催	8
(2) 令和2年度知的財産権制度説明会（INPIT・特許庁主催）への実施協力	9
6. 令和2年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金（中小企業知的財産支援事業） 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」 への参画	9
7. 会員サービス事業	
(1) 第6期会員交流会（中止）	13
(2) 会員向け無料セミナー	13
(3) 会員向け勉強会「意商道場2020 On Line」	14
(4) 会員向け勉強会「インド知財研究会2020 On Line」	15
(5) 会員向け勉強会「中国知財事情が日本企業に及ぼす影響」	16
(6) 機関誌の発行	16
(7) 刊行物の頒布	16
(8) ホームページおよびメール配信サービス	16
8. 産業財産権情報サービス事業	
(1) 公報複写等のサービス	17
(2) V3システムによる情報提供サービス	17
(3) 外国資料の取寄せ	17
(4) 産業財産権関係図書の販売	17
(5) 特許印紙の普及等	17
9. 業務遂行状況について	17
令和2年度収支計算書	21
貸借対照表	22
正味財産増減計算書	23
監査報告書	24

令和2年度事業報告書

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

1. 会 員 数

366名

(内訳)

種 別	前年度末	期 間 中 増 減			今年度末
		増	減	差引	
法人会員	243	3	14	△11	232
個人会員	138	7	11	△4	134
賛助会員	0	0	0	0	0
合計	381	10	25	△15	366

種 別		前年度末	増減	今年度末
法人会員	第1種	15	0	15
	第2種	39	△3	36
	第3種	62	0	62
	第4種	127	△8	119
個人会員	第1種	2	△1	1
	第2種	136	△3	133
賛助会員	法人(一口)	0	0	0
	個人(一口)	0	0	0
総 計		381	△15	366

2. 会 議

(1) 総 会

① 第11回総会

日 時 令和2年6月19日(金) 13:30~15:00

場 所 大阪大学中之島センター 7階 講義室703

第1号議案 令和元年度大阪発明協会事業報告・同収支計算書(案)承認の件

第2号議案 令和2年度大阪発明協会事業計画・同収支予算(案)承認の件

第3号議案 理事辞任と新理事候補(案)承認の件

第4号議案 会費種別基準の改定(案)の承認の件

(i) 理 事 選 任

(順不同・敬称略)

安藤 明 (TOYO TIRE株式会社)
井藤 浩志 (ヤンマーホールディングス株式会社)
上林 秀則 (大阪ガス株式会社)
瀧川 和徳 (株式会社カネカ)
辻村 英雄 (サントリーホールディングス株式会社)
野々村 一志 (西日本旅客鉄道株式会社)
長谷川 泰弘 (株式会社タイキ)
八子 誠 (住友化学株式会社)
横井 賢二郎 (関西電力株式会社)

- (ii) 理事退任 (順不同・敬称略)
- | | |
|-------|---------------------|
| 上川 徹 | (住友化学株式会社) |
| 上野山 雄 | (パナソニック株式会社) |
| 小嶋 幸次 | (サントリーホールディングス株式会社) |
| 清水 幹久 | (ヤンマーホールディングス株式会社) |
| 西尾 雄彦 | (大阪ガス株式会社) |
| 西脇 太 | (関西電力株式会社) |
| 根木 泰司 | (西日本旅客鉄道株式会社) |
| 野原 敬司 | (株式会社タイキ) |
| 林 明峰 | (株式会社カネカ) |
| 行本 直人 | (TOYO TIRE株式会社) |

(2) 理事会

①第33回理事会 (電子書面決議)

日 時 令和2年5月20日 (水)

第1号議案 令和元年度大阪発明協会事業報告・同収支計算書(案)承認の件

第2号議案 理事辞任と新理事候補 (案) 承認の件

第3号議案 会費種別基準の改定 (案) の承認の件

②第34回理事会

日 時 令和2年6月19日 (金) 14:30~14:45

場 所 大阪大学中之島センター 10階佐治敬三メモリアルホール

第1号議案 会長及び代表理事選任の件

第2号議案 新任役付け理事候補 承認の件

第3号議案 理事辞任と新理事候補 承認の件

第4号議案 顧問委嘱の承認の件

【会長及び代表理事選任結果】 (敬称略)

会 長 辻村 英雄 (サントリーホールディングス株式会社 常任顧問)
(代表理事)

(1名)

【新任役付け役員選任結果】 (敬称略)

安藤 明 (TOYO TIRE株式会社 知的財産部長)

井藤 浩志 (ヤンマーホールディングス株式会社 知的財産部長)

上林 秀則 (大阪ガス株式会社 知的財産室長)

横井 賢二郎 (関西電力株式会社 知的財産グループ チーフマネジャー)

若代 真吾 (パナソニック株式会社 知財戦略部長)

(5名)

【顧問委嘱】

(敬称略)

顧 問 上野山 雄 (パナソニック株式会社 客員)

(1名)

④第35回理事会(臨時：電子書面決議)

日 時 令和3年2月4日(木)

第1号議案 当法人の主たる事務所移転の件

【事務所移転先】 大阪市北区天満二丁目7番22号 コム関西ビル3階

【事務所移転日】 令和3年3月29日(月)

⑤第36回理事会

日 時 令和3年3月17日(水) 14:30～14:45

開催形式 オンライン会議システムによる開催

第1号議案 令和3年度大阪発明協会事業計画・同収支予算(案)承認の件

第2号議案 評議員の交代の件

(i) 評議員

(順不同・敬称略)

【新任】

木村 浩人 (株式会社クボタ)

【退任】

佐々木 真治 (株式会社クボタ)

3. 発明奨励振興事業

(1) 大阪優秀発明表彰

大阪発の優秀な発明・考案・創作を表彰することにより、大阪の地域活性化・科学技術の発展を図るとともに、会員の発明活動を奨励することを目的として、同賞を募集し、学識経験者等からなる選考委員会を構成して、厳正な審査を行い、受賞者を選定した。

選考委員会 日 時 令和2年12月25日(金) 10:00～11:00

場 所 大阪大学中之島センター 6階 606会議室

表 彰 式 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

受賞者は次の通り。(敬称略)

【大阪優秀発明大賞部門】

大阪優秀発明大賞

放射性セシウム分離濃縮方法及び放射性セシウム分離濃縮装置

(特許第6754341号)

釜田 陽介 (株式会社クボタ)
阿部 清一 (杵築技術士事務所)
上林 史朗 (クボタ環境サービス株式会社)
佐藤 淳 (株式会社クボタ)
吉岡 洋仁 (クボタ環境サービス株式会社)
寶正 史樹 (株式会社クボタ)
西村 和基 (株式会社クボタ)

大阪発明奨励賞

昇降式ホーム柵

(特許第6085452号)

井上 正文 (西日本旅客鉄道株式会社)
内田 秀明 (株式会社JR西日本テクシア)
平野 雅紀 (西日本旅客鉄道株式会社)
佐藤 信 (株式会社JR西日本テクシア)
井上 修吾 (株式会社JR西日本テクシア)
潮田 圭志 (株式会社JR西日本テクシア)
今井 達二己 (日本信号株式会社)

舶用SCRシステム

(特許第5511865号)

田中 博仲 (日立造船株式会社)

緊急車両用電子サイレンアンプ

(特許第6007894号)

田中 宏樹 (株式会社パトライト)

【大阪チャレンジ発明賞部門】

大阪チャレンジ発明賞

雷メモリ

(特許第6450044号)

稲崎 弘次 (音羽電機工業株式会社)
阿部 毅人 (音羽電機工業株式会社)
廣岡 征紀 (音羽電機工業株式会社)

(2) 近畿地方発明表彰

優秀な発明・考案・創作、その実施化、また、発明の奨励により近畿地方の産業の発展・振興に多大の貢献をされた方々を推薦し表彰した。

本年度の近畿地方発明表彰は、滋賀県発明協会が事務を担当し、地方発明表彰選考委員会の設置、表彰式等を挙行了した。

そのうち、大阪発明協会より推薦した発明者は30件91名。

近畿経済産業局長賞 1 件 4 名、日本弁理士会会長賞 1 件 4 名、実施功績賞 2 件 2 名、知事賞 1 件 5 名、会長賞 3 件 8 名、奨励賞 20 件 63 名の方々が受賞された。

近畿地方発明表彰選考委員会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により各団体にて選考

近畿地方発明表彰式

日 時 令和 2 年 11 月 18 日 (木) 15:00～16:00
場 所 琵琶湖ホテル 3 階 瑠璃 (滋賀県大津市浜町 2-40)
参加者 約 150 名

主な受賞者 (敬称略)

近畿経済産業局長賞

高輝度プロジェクトとそのスイッチング電源装置 (特許第 6515338 号)
山路 剛 (パナソニック株式会社)

実施功績賞 足立 和泰 (パナソニックIPマネジメント株式会社 代表取締役社長)

日本弁理士会会長賞

農作業機における自動走行切替スイッチ (特許第 6643091 号)
吉田 和正 (株式会社クボタ)
宮西 吉秀 (株式会社クボタ)
直本 哲 (日本株式会社久保田蘇州代表所)
永田 康弘 (株式会社クボタ)
石見 憲一 (株式会社クボタ)
宮本 惇平 (株式会社クボタ)
林 繁樹 (株式会社クボタ)

実施功績賞 北尾 裕一 (株式会社クボタ 代表取締役社長)

大阪府知事賞

製紙工程用スライム障害防止技術 (特許第 4914146 号)
長谷川 寛 (株式会社片山化学工業研究所)
中村 佳介 (株式会社片山化学工業研究所)

大阪発明協会会長賞

樹脂水性分散組成物 (特許第 5103702 号)
左右田 義浩 (ダイキン工業株式会社)
富橋 信行 (元 ダイキン工業株式会社)
百瀬 宏道 (ダイキン工業株式会社)
荻田 耕一郎 (ダイキン工業株式会社)

静音性に優れた滅菌装置 (特許第6540697号)

岸下 義孝 (株式会社湯山製作所)

三島 肇 (株式会社湯山製作所)

助手席エアバックの展開形状の適正化技術 (特許第5038168号)

牛嶋 哲朗 (ダイハツ工業株式会社)

(3) 全国発明表彰

大阪発明協会より8件を推薦した。

推薦した応募案件のうち、発明賞1件2名、21世紀発明奨励賞1件1名が受賞した。

表彰式 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

受賞者は次の通り。(敬称略)

【第一表彰区分】日本商工会議所会頭賞

全自動散薬調剤装置の発明 (特許第6308395号)

吉名 克憲 (株式会社湯山製作所)

浅岡 千晴 (株式会社湯山製作所)

岩谷 高志 (株式会社湯山製作所)

小田 智生 (株式会社湯山製作所)

発明実施功績賞 湯山 裕之 (株式会社湯山製作所 代表取締役)

【第一表彰区分】発明賞

高性能金属化フィルムコンデンサの発明 (特許第6074667号)

竹岡 宏樹 (パナソニック株式会社)

久保田 浩 (日産自動車株式会社)

大地 幸和 (パナソニック株式会社)

藤井 浩 (パナソニック株式会社)

島崎 幸博 (パナソニック株式会社)

【第二表彰区分】未来創造発明賞

再生医療用多能性幹細胞の培養基材の発明 (特許第5590646号)

関口 清俊 (国立大学法人大阪大学)

二木 杉子 (学校法人大阪医科薬科大学)

谿口 征雅 (国立大学法人大阪大学)

林 麻利亜 (学校法人武庫川学院 武庫川女子大学)

中辻 憲夫 (国立大学法人京都大学)

宮崎 隆道 (株式会社レイメイ)
川瀬 栄八郎 (国立大学法人京都大学)
末盛 博文 (国立大学法人京都大学)

未来創造発明貢献賞 西尾 章治郎 (国立大学法人大阪大学 総長)
湊 長博 (国立大学法人京都大学 学長)

(4) 叙勲・褒章等への推薦

当協会から推薦した4名が受賞した。(敬称略)

令和2年春の叙勲

旭日小綬章 大嶋 光昭 (パナソニック株式会社)

文部科学大臣表彰

創意工夫功労者賞 藤本 達也 (ダイハツ工業株式会社)

創意工夫功労者賞 山口 正就 (ダイハツ工業株式会社)

創意工夫功労者賞 常木 信弘 (ダイハツ工業株式会社)

(5) 大阪府発明実施功労者等表彰

当協会から推薦した3名が受賞した。

大阪府発明実施功労者等表彰式

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

受賞者(敬称略)

技術改善功労者 玉置 真一 (ダイハツ工業株式会社)

技術改善功労者 野田 茂靖 (ダイハツ工業株式会社)

技術改善功労者 臼杵 純一 (ダイハツ工業株式会社)

4. 青少年創造性開発育成事業

(1) 大阪府生徒児童発明くふう展

我国の次代を担う生徒児童が、自身で問題提起を行い、発明に取り組み、工夫した作品を作り上げることにより、知的創造力を駆使して問題解決を行える人材を育てることを目的として開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、共催である毎日新聞社と協議し、中止となった。

(2) 少年少女発明クラブ

大阪府内の少年少女発明クラブの活動も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くのクラブが延期または中止となった。

- ① 交野市少年少女発明クラブ 緊急事態宣言発令中は活動休止
- ② 東大阪市少年少女発明クラブ 緊急事態宣言発令中は活動休止

- ③ 大阪市森之宮少年少女発明クラブ 1年間活動休止
- ④ 大阪市日本橋少年少女発明クラブ ZOOMを利用したオンラインにて活動
- ⑤ 大阪市生野少年少女発明クラブ 1年間活動休止

(3) 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

公益社団法人発明協会主催の全国少年少女チャレンジ創造コンテストの大阪地区予選会を兼ねた大阪大会を例年開催してきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりコンテスト自体の中止が決定したため、大阪大会も中止となった。

(4) 本部展覧会への推薦(本年度推薦件数)

①全日本学生児童発明くふう展

大阪府生徒児童発明くふう展が中止となったため、今年度は当協会からの推薦ではなく直接応募となった。その結果大阪府からの応募作品のうち、入選3点が選出された。

受賞者(敬称略)

★入選

「引き出しやすいラップケース」

徳林 澄乃 (箕面市立西南小学校4年)

「おきあがりこぼし杖」

中村 倫晟 (堺市立登美丘中学校2年)

「カッター用定規」

結城 彩佳 (大阪市立都島工業高等学校2年)

②未来の科学の夢絵画展

大阪発明協会より43件を推薦した。

5. 知的財産権制度普及事業

(1) 大阪発明協会主催「知的財産セミナー」の開催

知的財産権に関する専門知識ならびにその実務の習得などを目的として、知的財産専門人材の育成に努め、知的財産権制度の普及・啓発を行うため、各種研修・講習会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン形式に移行して開催した。

1	技術情報を営業秘密として守るための実務と事例研究	11名
2	実務初級～中級者のためのケースに学ぶ技術契約入門	28名
3	契約書作成実践セミナー<共同研究開発契約・共同出願契約編>	12名
4	特許検索の勧めとJ-Plat Patの効果的な使い方のポイント	10名
5	中国知財セミナー【契約編】	10名
6	アグレッシブな米国企業からの不平等契約を是正するための交渉戦略	4名

7	知財情報調査・分析セミナー	
	知財情報分析のデザインとExcelによるパテントマップ作成演習	23名
	知財情報分析の実践－新規事業開発・顧客開拓及びM&A・提携先探索－	25名
8	法体系の違いからみた外国商標制度の特記事項とリスク対策	18名
9	AI, Dataの利用契約を含む「IT契約入門」	12名
10	異業種に学ぶ「ファッション・ロー」を利用した「ブランド戦略」	14名

(2) 令和2年度知的財産権制度説明会（INPIT・特許庁主催）への実施協力

（一社）発明推進協会が受託した、これから知的財産権を学びたい方、企業等において知財部門に新しく配属された方などの初心者の方を対象にした知的財産権に関する基本的な知識の習得を目的として開催する知的財産権制度説明会（初心者向け）の大阪開催について準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面形式ではなくオンライン形式での開催となったため、開催準備までの協力となった。なお、知的財産権制度説明会（実務者向け）も同様にオンライン形式となったため、実施協力はしていない。

6. 令和2年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金（中小企業知的財産支援事業）

「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」への参画

デザイン経営の考え方に基づいた商品開発による農産品や六次産業化による農産加工品を試作しその成果を示すことで、デザイン経営の考え方や手法の重要性を農業分野にも浸透させ、これからの農業社会において定着させていくことを目標として、標記事業を近畿経済産業局からの補助金の支援を得ながら、京都発明協会・和歌山県発明協会と共に事業に参画、実施した。大阪府内からはRabbit Farm（らっきょう農家：大阪府堺市）、大阪府立環境農林水産総合研究所（途中離脱）が参加、Rabbit Farmの商品「さかいらっきょう」のラベルデザインについての考案・製作を支援した。

【プロジェクト（PJ）メンバー】

（一社）大阪発明協会、（一社）京都発明協会、（一社）和歌山県発明協会、
（一社）京都府農業会議、佐藤翼（農業ブランド専門家）、
飯田吉秋（デザイン経営専門家）、斎藤三映子（食品検査専門家）、
社会福祉法人修光学園（販売事業者）、（株）鈴りん探偵社（マーケッター）、
NPO法人障害者芸術推進研究機構（パッケージ担当）、京都発明協会知財相談員

【参加農家】

おさぜん農園（苺：八幡市）、オーガニックファーム大八木（筍：京都市）、
京都義の（固定種野菜：京都市）、自然農業なんたん環境村（パパイヤ：亀岡市）、
86ファーム（パンに合う野菜加工品：福知山市）、Mappy Lab（野菜：京都市）、
大阪府立環境農林水産総合研究所（新品種ぶどう：羽曳野市）、
Rabbit Farm（らっきょう：堺市）、ちょういしファーマーズ（柿：九度山町）

(1) 第1回PJ会議キックオフ(K0)会

日時 令和3年8月6日(木) 13:00~14:00
開催形式 オンライン会議システムによる開催
テーマ 本PJの目的、目標、予定、メンバー紹介
参加者 9名

(2) ワイワイガヤガヤ会セミナー

日時 令和2年8月6日(木) 14:30~17:00
開催形式 オンライン会議システムによる開催
テーマ

I. 最先端のノウハウを学ぶ&本事業の説明

- ①『農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りへの支援事業』の説明
- ②異業種の経営を成功に導いている「デザイン経営」とは
- ③農業のブランド手法について

II. 支援の情報提供

- ①試作について(加工)
- ②農業分野の知財について:主に商標
- ③デザイン経営の情報整理のためのシート説明(経営デザインシートを活用)

III. 質疑応答・個別ヒアリング等

参加者 31名

(3) デザインリサーチセミナー

日時 令和2年9月14日(月) 14:30~16:30
開催形式 オンライン会議システムによる開催
テーマ

- I. デザイン経営におけるデザインリサーチの役割~デザインシンキングとは~
- II. 課題をどうとらえるか~失敗事例をみる~
- III. マーケティング調査について
- IV. デザイン経営の成功/失敗の分かれ道(事例紹介)
- V. 参加農業者とのディスカッション

参加者 23名

(4) デザイン経営ブランディング・試作化セミナーPart I

(BSアクションミーティングPart I)

日時 令和2年10月26日(月) 14:30~16:30
開催形式 オンライン会議システムによる開催
テーマ

- I. 農業事業者の発表
- II. 専門家とのディスカッション

参加者 19名

(5) 第2回PJ会議

日時 令和2年11月12日(木) 16:30~17:30
開催形式 オンライン会議システムによる開催
テーマ 次回セミナーテーマの情報共有、進め方の共有
参加者 5名

(6) デザイン経営ブランディング・試作化セミナー続 Part I +Part II
(BSアクションミーティングPart I +Part II)

日時 令和2年11月30日(月) 14:00~16:00
開催形式 オンライン会議システムによる開催
テーマ

- I. 鈴りん探偵舎様によるマーケット調査の中間報告
- II. 農家さん(なんたん環境村様)への具体的なデザイン経営のアドバイス事例の紹介
- III. 試作化の全体状況の報告
- IV. 試作化の中での商品名の保護: 商標について
- V. その他 天才アート作家作品の紹介とパッケージデザイン(FDFD味噌汁)について

参加者 17名

(7) デザイン経営ブランディング・試作化セミナー続 Part II 第2回
(BSアクションミーティングPart II)

日時 令和2年12月22日(火) 14:00~16:00
開催形式 オンライン会議システムによる開催
テーマ

- I. マーケット調査報告
- II. 試作品作りの状況
- III. 専門家味見会の報告
- IV. 食品検査・栄養分析の実施状況
- V. ブランド名商標出願&デザイン意匠出願の状況報告

参加者 18名

(8) デザイン経営ブランディング・試作化セミナーPart II 第3回
(BSアクションミーティングPart II)

日時 令和3年1月28日(木) 14:00~16:00
開催形式 オンライン会議システムによる開催
テーマ

- I. 専門家味見会の12月~1月実施状況
- II. 試作品作りの12月~1月実施状況
- III. 食品検査・栄養分析の12月~1月実施状況

IV. 知財支援の状況

参加者 16名

(9) デザインシンキング（試作化）

a) さかいらっきょう第1回ラベルデザイン評価会

日時 令和2年12月15日（火） 16:30～17:30

開催形式 オンライン会議システムによる開催

テーマ

①ラベルデザインについて

②商標登録等について

参加者 7名

b) さかいらっきょう第2回ラベルデザイン評価会

日時 令和3年1月25日（月） 16:00～17:00

開催形式 オンライン会議システムによる開催

テーマ 第2回ラベル試作品の評価を行い、修正版第3回に反映する

参加者 5名

c) さかいらっきょう第3回ラベルデザイン評価会

日時 令和3年2月1日（月） 16:00～17:00

開催形式 オンライン会議システムによる開催

テーマ ラベルデザイン（最終版）について

参加者 6名

(10) 農業分野へのデザイン経営セミナー・成果発表会

日時 令和3年2月5日（金） 14:00～16:30

開催形式 オンライン会議システムによる開催

テーマ

I. 「デザイン経営」について概論や考え方、経済産業省（特許庁）における足下の取り組みについて

II. 今回のプロジェクトにおけるデザイン経営の考え方の具体的な普及について

III. 農業分野におけるブランディングの考え方と具体的な活動について

IV. 成果発表会

1) 各農業事業者による成果発表

2) 鈴りん探偵舎の活動

3) 天才アート作家の活動と今回の成果との連携

4) 今回のプロジェクトと知財支援

参加者 27名

7. 会員サービス事業

(1) 第6期会員交流会

会員各社が参考になるような情報を無料で得られる機会を提供し、会員同士の親睦と交流を深めるため、令和元年度より第6期交流会を開始していたが、前年度末に新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止から再開の目処が立たず、無期限の開催延期となった。

(2) 会員向け無料セミナー

会員サービスの一環として、会員のみ無料で参加できるセミナーとして、他団体との協力・連携のもと企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン形式に移行して開催した。

①日 時：令和2年10月14日（水） 13：30～14：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催

内 容：「新しい知財調停手続—大阪地裁の知財調停第1号の経験から—」

協 力：阿部国際総合法律事務所

講 師：阿部 隆徳 氏（阿部国際総合法律事務所 パートナー弁護士）

参加人数：46名

②日 時：令和2年11月5日（木） 14：00～17：00

開催形式：オンラインライブ中継による開催

内 容：「ASEAN特許実務入門」

共 催：一般社団法人発明推進協会

講 師：高橋 明雄 氏（グローバル・アイピー東京特許業務法人 弁理士）

参加人数：47名

③日 時：令和2年11月17日（火） 13：30～14：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催

内 容：「新しい査証制度-令和元年特許法改正」

協 力：阿部国際総合法律事務所

講 師：阿部 隆徳 氏（阿部国際総合法律事務所 パートナー弁護士）

参加人数：54名

④日 時：令和2年11月26日（木） 16：00～17：10

開催形式：オンラインウェビナーシステムによる開催

内 容：第1回改正意匠法オープンセミナー

講 師 「法改正後の関連意匠制度について」

山田 繁和 氏（大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 教授）

「関連意匠制度の留意点」

土谷 和之 氏（特許業務法人深見特許事務所 意匠部副部長・弁理士）

共 催：特許業務法人深見特許事務所

参加人数：100名

⑤日 時：令和3年2月4日（木） 15：30～17：00

開催形式：オンラインウェビナーシステムによる開催

内 容：第2回改正意匠法オープンセミナー

講 師 「法改正後の画像意匠について」

山田 繁和 氏 （大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 教授）

「外国出願を見据えた画像意匠制度活用の留意点」

綿本 肇 氏 （特許業務法人深見特許事務所 意匠部上席・弁理士）

共 催：特許業務法人深見特許事務所

参加人数：92名

⑥日 時：令和3年3月25日（木） 15：30～17：00

開催形式：オンラインウェビナーシステムによる開催

内 容：第3回改正意匠法オープンセミナー

講 師 「法改正後の空間デザインについて」

山田 繁和 氏 （大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 教授）

「空間デザインの出願戦略」

佐々木 真人 氏 （特許業務法人深見特許事務所 副所長・弁理士）

共 催：特許業務法人深見特許事務所

参加人数：75名

（3）会員向け勉強会「意商道場2020 On Line」

意匠・商標をめぐる諸問題の理解を目指す初中級者を対象に、可能な限り実例を取り上げての解説を試みるとともに、講師及び参加者による議論を通して情報交換を行ない、疑問点の解消に努めることを目的として、特許業務法人深見特許事務所の協力のもと、意匠と商標をテーマにした勉強会を年3回会員限定無料にて開催した。なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン形式に移行して開催した。

■第1回：商標「商標権更新登録の際の検討事項」

日 時：令和2年7月29日（水） 19：00～20：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催

発表者：原 智典 氏（特許業務法人深見特許事務所 商標法律部・弁理士）

参加人数：8名

■第2回：意匠「新しい関連意匠制度を活用した意匠出願戦略」

日 時：令和2年9月30日（水） 16：00～17：00

開催形式：オンライン会議システムによる開催

発表者：小田 晃寛 氏（特許業務法人深見特許事務所 意匠部上席・弁理士）

参加人数：6名

■第3回：商標「商標的使用とはなんぞや」

日 時：令和2年11月25日（水） 17：30～19：00

開催形式：オンライン会議システムによる開催

発表者：瀬川 左英 氏（特許業務法人深見特許事務所 商標法律部・弁理士）

参加人数：10名

(4) 会員向け勉強会「インド知財研究会2020 On Line」

インドの知財事情に関心のある実務者を対象に、毎回テーマを設け、インドを取り巻く最新状況から、知的財産権制度や特許庁・審査官の仕事ぶり、代理人や調査会社の見極め方等についての情報の共有の場を提供することを目的として、AsiaWise Groupの協力のもと、インド知財に関する勉強会を年5回会員限定無料にて、オンライン形式にて開催した。

■第1回「インドで特許を取る意味があるのか」

日時：令和2年8月27日（木） 13：30～14：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催

講師：奥 啓徳 氏 (Co-Founder of AsiaWise Group)

田中 陽介 氏 (AsiaWise Group Cross Border IP Expert(Asia))

参加人数：30名

■第2回「インドの審査官はしっかりと審査しているのか」

日時：令和2年9月24日（木） 13：30～14：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催

講師：奥 啓徳 氏 (Co-Founder of AsiaWise Group)

田中 陽介 氏 (AsiaWise Group Cross Border IP Expert(Asia))

参加人数：26名

■第3回「インドの特許庁は十分にデジタル化しているのか」

日時：令和2年10月15日（木） 13：30～14：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催

講師：奥 啓徳 氏 (Co-Founder of AsiaWise Group)

田中 陽介 氏 (AsiaWise Group Cross Border IP Expert(Asia))

参加人数：27名

■第4回「インドの代理人はなぜ聞く人ごとに違う答えが返ってくるのか」

日時：令和2年11月12日（木） 13：30～14：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催

講師：奥 啓徳 氏 (Co-Founder of AsiaWise Group)

田中 陽介 氏 (AsiaWise Group Cross Border IP Expert(Asia))

参加人数：28名

■第5回「インドの知財調査会社をどのように活用することができるのか」

日時：令和2年12月10日（木） 13：30～14：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催

講師：奥 啓徳 氏 (Co-Founder of AsiaWise Group)

田中 陽介 氏 (AsiaWise Group Cross Border IP Expert(Asia))

参加人数：23名

(5) 会員向け勉強会「中国知財事情が日本企業に及ぼす影響」

中国の知財事情に関心のある実務者を対象に、毎回テーマを設け、中国での知財権侵害訴訟などの権利行使に期待する成果が得られず、中国での対応を躊躇する企業にとって解決策策定のヒントになるものとして、中国で豊富な知財保護経験を持つ知財事務所の協力により中国知財の実態について情報提供することを目的として、北京万慧達知識産権の協力のもと、中国知財事情に関する勉強会を年3回会員限定無料にて、オンライン形式にて開催した。

■第1回「米中貿易協議下の中国知的財産権の状況と日本企業への影響」

日 時：令和2年12月21日（月） 15：00～16：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催（同時通訳）

講 師：黄 暉 氏（万慧達知識産権 管理委員会メンバー/パートナー弁護士）
李 森 氏（万慧達知識産権 管理委員会メンバー/パートナー弁護士）

参加人数：27名

■第2回「中国における悪意による商標の駆け込み登録に対する対策」

日 時：令和3年1月19日（火） 15：00～16：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催（同時通訳）

講 師：黄 暉 氏（万慧達知識産権 管理委員会メンバー/パートナー弁護士）

参加人数：54名

■第3回「中国における特許権利侵害訴訟及び最新動向」

日 時：令和3年3月9日（火） 15：00～16：30

開催形式：オンライン会議システムによる開催（同時通訳）

講 師：張 樹華 氏（万慧達知識産権 パートナー弁護士・NY州弁護士）
李 江 氏（万慧達知識産権 パートナー弁護士・弁理士）

参加人数：57名

(6) 機関誌の発行

知的財産権制度に関する資料およびこれらに類する情報、または技術に関する参考資料、各種講習会、説明会案内、特許・技術に係わる資料、各種表彰事業など知的財産権関連事業を豊富に掲載した機関誌「企業と発明Lite」を会員ならびに関係機関に毎月配布した。なお、大阪弁護士会知的財産委員会の協力により、「最新トピックスで学ぶ知的財産法」の寄稿連載がスタートした。

(7) 刊行物の頒布

会員サービスの一環として、月刊誌「発明」、月報「はつめい」等、（一社）発明推進協会発行刊行物等の配布を行った。

(8) ホームページおよびメール配信サービス

会員サービスの一環として、ホームページのトップページに注目されるイベントのバナーの適宜更新や原則月1回のメルマガ発行等、会員に迅速な知的財産権に関する情報の提供をより充実した形で実施した。

8. 産業財産権情報サービス事業

産業財産権公報類の複写サービス、V3システムによる特許情報サービス等の各種サービスを行った。

(1) 公報複写等のサービス

各種公報類の複写および複写物・電子媒体の定期継続提供サービス等に努めた。

(2) V3システムによる情報提供サービス

特許庁V3システムによるオンライン閲覧等による出願書類、原簿等の提供サービスを実施し、中小企業等の地域格差の解消に努めた。

(3) 外国資料の取寄せ

産業財産権のグローバル化に対して、ユーザーのニーズに沿い、従来から実施している海外産業財産権関連資料の取寄サービスを行った。

(4) 産業財産権関係図書の販売

産業財産権情報の一つとして、制度普及を図るために、(一社)発明推進協会発行図書の販売に努めた。

(5) 特許印紙の普及等

産業財産権制度普及の一環として、特許印紙等の販売に努めた。

9. 協会事務所移転

大阪市・大阪大学が推進する中之島四丁目再開発プロジェクトの一環として、協会事務所が入居している大阪大学中之島センターが令和3年度より2年間、改装のため閉館となったため、協会事務所を大阪市北区天満のコム関西ビル3階へ移転した。

住所：大阪市北区天満2丁目7番22号 コム関西ビル3階

移転日：令和3年3月29日

9. 業務遂行状況

《令和2年4月》

- ・ 令和2年度近畿地方表彰応募候補者を(公社)発明協会に推薦。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言(1回目)のため、職員の交代出勤制を導入。(4/7~5/21まで)

《令和2年5月》

- ・ 第33回理事会を電子書面にて決議。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により第50回大阪府生徒児童発明くふう展の募集中止を決定。

《令和2年6月》

- ・ 第11回総会・第34回理事会を開催。（大阪大学中之島センター）

《令和2年7月》

- ・ 会員向け勉強会「意商道場2020 On Line」第1回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 令和3年度全国発明表彰の募集を周知。

《令和2年8月》

- ・ 令和2年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金事業「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」第1回PJ会議（キックオフ会）、ワイワイガヤガヤ会セミナーを開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け勉強会「インド知財研究会2020 On Line」第1回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）

《令和2年9月》

- ・ 知財のミカタ～巡回特許庁 in KANSAIに出席。（グランフロント大阪）
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」デザインリサーチセミナーを開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け勉強会「インド知財研究会2020 On Line」第2回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け勉強会「意商道場2020 On Line」第2回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 令和3年度全国発明表彰に応募案件を推薦。
- ・ 令和2年度大阪優秀発明表彰の募集を周知。
- ・ 未来の科学の夢絵画展の募集を周知。

《令和2年10月》

- ・ 知的財産セミナー「技術情報を営業秘密として守るための実務と事例研究」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け無料セミナー「新しい知財調停手続—大阪地裁の知財調停第1号の経験から—」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け勉強会「インド知財研究会2020 On Line」第3回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 知的財産セミナー「実務初級～中級者のためのケースに学ぶ技術契約入門」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 知財総合支援窓口事業第1回連携会議に参加。（ABC-MART梅田ビル）
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」デザイン経営ブランディング・試作化セミナーPart Iを開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）

《令和2年11月》

- ・ 会員向け無料セミナー「ASEAN特許実務入門」を（一社）発明推進協会と共催により開催。（オンラインライブ中継形式）
- ・ 知的財産セミナー「契約書作成実践セミナー＜共同研究開発契約・共同出願契約編＞」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）

- ・ 会員向け勉強会「インド知財研究会2020 On Line」第4回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」第2回PJ会議を開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け無料セミナー「新しい査証制度-令和元年特許法改正」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 令和2年度近畿地方発明表彰式（琵琶湖ホテル：滋賀県大津市）を挙げる。
- ・ 知的財産セミナー「特許検索の勧めとJ-Plat Patの効果的な使い方のポイント」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け勉強会「意商道場2020 On Line」第3回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け無料セミナー「第1回改正意匠法オープンセミナー」を特許業務法人深見特許事務所と共催により開催。（Zoomウェビナーによるオンライン形式）
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」デザイン経営ブランディング・試作化セミナー続 Part I +Part II を開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）

《令和2年12月》

- ・ 知的財産セミナー「中国知財セミナー【契約編】～現地提携・進出の際に、契約は大丈夫だった？～」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」さかいらっきょう第1回ラベルデザイン評価会を開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け勉強会「インド知財研究会2020 On Line」第5回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 知的財産セミナー「アグレッシブな米国企業からの不平等契約を是正するための交渉戦略」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け勉強会「中国知財事情が日本企業に及ぼす影響」第1回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」デザイン経営ブランディング・試作化セミナー続 Part II 第2回を開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 令和2年度大阪優秀発明表彰選考委員会開催。（大阪大学中之島センター）
- ・ 未来の科学の夢絵画展に応募案件を推薦。
- ・ 大阪府実施功労者等表彰に応募案件を推薦。

《令和3年1月》

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言（2回目）のため、職員の時短業務を導入。（1/13～3/1まで）
- ・ 知財情報分析セミナー第1回「知財情報分析のデザインとExcelによるパテントマップ作成演習」開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）
- ・ 会員向け勉強会「中国知財事情が日本企業に及ぼす影響」第2回開催。（Zoom Meetingによるオンライン形式）

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年度大阪優秀発明表彰式の中止を決定。
- ・ 知的財産セミナー「法体系の違いからみた外国商標制度の特記事項とリスク対策」開催。
(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」さかいらっきょう第2回ラベルデザイン評価会を開催。(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」デザイン経営ブランディング・試作化セミナーPartⅡ第3回を開催。(Zoom Meetingによるオンライン形式)

《令和3年2月》

- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」さかいらっきょう第3回ラベルデザイン評価会を開催。(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 第35回臨時理事会を電子書面にて決議。
- ・ 会員向け無料セミナー「第2回改正意匠法オープンセミナー」を特許業務法人深見特許事務所と共催により開催。(Zoomウェビナーによるオンライン形式)
- ・ 「農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りによる中小企業知的財産支援事業」農業分野へのデザイン経営セミナー・成果発表会を開催。(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 知財情報分析セミナー第2回「知財情報分析の実践－新規事業開発・顧客開拓およびM&A・提携先探索－」開催。(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 知的財産セミナー「AI, Dataの利用契約を含むIT契約入門」開催。(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 令和3年度近畿地方発明表彰の募集を周知。

《令和3年3月》

- ・ 知財総合支援窓口事業第2回連携会議に参加。(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 会員向け勉強会「中国知財事情が日本企業に及ぼす影響」第3回開催。(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 大阪工業大学知的財産学部教育課程連携協議会に参加。(大阪工業大学梅田キャンパス)
- ・ 知的財産セミナー「異業種に学ぶファッション・ローを利用したブランド戦略」開催。
(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 第36回理事会を開催。(Zoom Meetingによるオンライン形式)
- ・ 会員向け無料セミナー「第3回改正意匠法オープンセミナー」を特許業務法人深見特許事務所と共催により開催。(Zoomウェビナーによるオンライン形式)
- ・ 協会事務所を大阪市北区天満のコム関西ビルに移転。移転に伴い3/26～3/31まで臨時休業。

収支計算書

一般社団法人 大阪発明協会
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで (単位：千円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 経常収入				
(1) 会費収入	24,200	23,855	▲ 345	
(2) 事業収入	17,672	10,247	▲ 7,425	
① 発明奨励振興事業収入	1,050	1,550	500	
② 青少年創造性開発育成事業収入	20		▲ 20	
③ 知的財産権制度普及事業収入	5,598	2,152	▲ 3,447	
④ 特許情報サービス事業収入	10,500	6,024	▲ 4,476	
⑤ 一般事業収入	504	522	18	
(3) 雑収入	39	3,357	3,318	
事業活動収入合計	41,911	37,459	▲ 4,452	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	14,617	9,585	▲ 5,032	
① 発明奨励振興事業支出	454	401	▲ 53	
② 青少年創造性開発育成事業支出	1,429	486	▲ 943	
③ 知的財産権制度普及事業支出	2,954	872	▲ 2,082	
④ 特許情報サービス事業支出	6,710	5,406	▲ 1,304	
⑤ 一般事業支出 (会員サービス)	3,070	2,420	▲ 650	
⑥ その他事業支出				
(3) 管理費支出	29,228	29,773	545	
① 人件費支出	17,588	17,603	15	
② 事務費支出	9,613	10,548	935	
③ その他支出 (事務所移転費用)	2,027	1,623	▲ 404	
事業活動支出合計	43,845	39,358	▲ 4,486	
事業活動収支差額	▲ 1,933	▲ 1,899	34	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 寄付金取崩収入	280	280		
2. 投資活動支出				
(1) 保証金支出		360	360	
投資活動収支差額	280	▲ 80	▲ 360	
当期収支差額	▲ 1,653	▲ 1,979	▲ 326	
前期繰越収支差額	60,625	60,625		
次期繰越収支差額	58,972	58,646	▲ 326	

貸借対照表

一般社団法人 大阪発明協会

令和3年3月31日現在

(単位 : 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	2,592,672	4,394,331	▲ 1,801,659
郵便切手類	24,256,290	18,251,109	6,005,181
普通預金	28,830,330	32,918,393	▲ 4,088,063
郵便振替	2,702,192	1,859,024	843,168
未収入金	2,396,119	41,323,432	▲ 38,927,313
前払費用	851,200	344,920	506,280
仮払金	78,271	231,500	▲ 153,229
流動資産合計	61,707,074	99,322,709	▲ 37,615,635
2. 固定資産			0
(1) 特定資産			0
発明奨励等助成金			0
その他特定資産	280,000	560,000	▲ 280,000
特定資産合計	280,000	560,000	▲ 280,000
(2) その他固定資産			
保証金	360,000	0	360,000
その他固定資産合計	360,000	0	360,000
固定資産合計	640,000	560,000	80,000
資産合計	62,347,074	99,882,709	▲ 37,535,635
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未払金	2,611,864	9,659,731	▲ 7,047,867
前受金	2,739,073	790,160	1,948,913
預り金	95,128	773,724	▲ 678,596
仮受金	140,900		140,900
短期借入金		30,000,000	▲ 30,000,000
流動負債合計	5,586,965	41,223,615	▲ 35,636,650
負債合計	5,586,965	41,223,615	▲ 35,636,650
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産			0
発明奨励等助成金			0
寄付金	280,000	560,000	▲ 280,000
指定正味財産合計	280,000	560,000	▲ 280,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	()	()	(0)
2. 一般正味財産	56,480,109	58,099,094	▲ 1,618,985
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	56,760,109	58,659,094	▲ 1,898,985
負債及び正味財産合計	62,347,074	99,882,709	▲ 37,535,635

正味財産増減計算書

一般社団法人 大阪発明協会

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	23,855,000	24,440,000	▲ 585,000
② 事業収益	10,247,460	13,632,137	▲ 3,384,677
発明奨励振興事業収益	1,550,000	1,050,000	500,000
青少年創造性開発育成事業収益		21,552	▲ 21,552
知的財産権制度普及事業収益	2,151,607	4,204,642	▲ 2,053,035
特許情報サービス事業収益	6,023,668	7,574,075	▲ 1,550,407
一般事業収入	522,185	781,868	▲ 259,683
③ 受取補助金等			
INPIT請負事業収益		73,895,607	▲ 73,895,607
④ 寄付金・協賛金収益	280,000	280,000	
受取寄付金			
受取寄付金振替額	280,000	280,000	
⑤ 雑収益	3,356,722	221,356	3,135,366
経常収益計	37,739,182	112,469,100	▲ 74,729,918
(2) 経常費用			
① 事業費	9,585,163	14,081,641	▲ 4,496,478
発明奨励振興事業支出	400,986	518,143	▲ 117,157
青少年創造性開発育成事業支出	486,326	1,498,723	▲ 1,012,397
知的財産権制度普及事業支出	872,437	3,413,878	▲ 2,541,441
特許情報サービス事業支出	5,405,655	5,690,628	▲ 284,973
一般事業支出（会員サービス）	2,419,759	2,960,269	▲ 540,510
その他の事業支出			
② INPIT請負事業支出		65,434,697	▲ 65,434,697
③ 管理費支出	29,773,004	30,755,173	▲ 982,169
人件費支出	17,602,924	19,916,644	▲ 2,313,720
事務費支出	12,170,080	10,838,529	1,331,551
経常費用計	39,358,167	110,271,511	▲ 70,913,344
当期経常増減額	▲ 1,618,985	2,197,589	▲ 3,816,574
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 1,618,985	2,197,589	▲ 3,816,574
当期一般正味財産増減額	▲ 1,618,985	2,197,589	▲ 3,816,574
一般正味財産期首残高	58,099,094	55,901,505	2,197,589
一般正味財産期末残高	56,480,109	58,099,094	▲ 1,618,985
II 指定正味財産増減の部			
① 受取発明奨励等助成金			
② 受取寄付金			
受取資金寄付金			
③ 一般正味財産への振替額	280,000	280,000	
寄付金	280,000	280,000	
当期指定正味財産増減額	▲ 280,000	▲ 280,000	
指定正味財産期首残高	560,000	840,000	▲ 280,000
指定正味財産期末残高	280,000	560,000	▲ 280,000
III 正味財産期末残高	56,760,109	58,659,094	▲ 1,898,985

以上のとおり相違ありません。

令和 3年 5月24日

一般社団法人 大阪発明協会
会長 辻村 英雄 印

以上を監査いたしました結果、その正確かつ適法なることを認めます。

令和 3年 5月24日

監事 梶川 裕次郎 印
監事 西口 良二 印